

第3次大洲市総合計画に向けて 分野別ワークショップ 〈第3回〉

開催日時 令和7年11月21日（金）14時～
会場 大洲市民会館 2階中ホール



本日のテーマ

- 前回の振り返り
- 課題の“解決策”について
考えるワークショップ




本日の予定

14:00～	開会の挨拶
14:05～	前回の振り返り ワークショップ説明
14:20～	ワークショップ（WS） テーマ：課題の“解決策”について考える
15:45～	チームからの発表
16:00	閉会

前回の振り返り



前回の振り返り

 チーム	 目指すまちの姿	 課題
市民協働・共生	希望のあるまち	1 全員参加
健康・福祉	いきいきと自分らしく 輝けるまち 大洲市	1 人材不足のため保健医療福祉の担い手が必要 2 社会参加を行い、いきいきと自分らしく生きる 3 安心・安全な医療の充実が必要
商工・観光	うるおい・うまれるまち	1 保育・教育の改善 2 ブランド力の向上 3 チャレンジしやすい環境づくり
農林水産	農林水産業で子育て できる持続可能なまち	1 農林業に使用できる土地 2 人口確保 3 収入源
子育て・教育	寄り添い合える誰もが 安心安全なまち	1 地域で集える場の確保 2 連携不足 3 人と金の確保

目指す姿

希望のあるまち

最重要課題とその理由

- 1 全員参加
- 高齢者・次世代とのつながり
 - 地域とのつながり

発表
内容

前回、目指す姿を「希望のあるまち」と設定した中で、赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが一体となって行事や自治会、コミュニティセンターの活動を行うことが大事だと考えた。

地域内での高齢化や人口減少が進む中で、そういった活動だけでなく、消防団の活動も大変になってくることが課題として挙げられ、全員が参加し地域とつながることで解決しようという意見となった。

全員参加

全員参加→希望

ボランティアの人数集め

行事活動

次世代に継ぐ活動

活躍の場

赤ちゃんからお年寄りまで参加

消防団の活躍

Uターン移住者を増やす

市議会に中学生を

郷土芸能

その他の問題点

(労働力)
人手不足特に若い人防災
時間がかかる

公共交通不足

仕事がない

お金がかかる

理解してもらう

後継者不足

資金

子どもが少ない

キーマン・リーダー不足

目指す姿

いきいきと自分らしく輝けるまち 大洲市

最重要課題とその理由

1 人材不足のため保健医療福祉の担い手が必要である

大洲市の人口が4万人を切り、人口減少、少子高齢化が進んでいる。おのずと保健医療福祉の担い手も減少し担い手不足となっている。

2 社会参加を行い、いきいきと自分らしく生きる

現状、健康であっても地域のつながりを持たない高齢者が多い。一人ひとりが自分らしく健康生活を続けていくためには、地域とのつながりを持ちエンパワメントを高めた生活が必要である。

3 安心・安全な医療の充実が必要

現状、全国的にも病院赤字による倒産が相次いでいる。大洲市に必要な医療充実のため、病院の努力とともに医療提供体制の継続が必要である。

発表
内容

健康・福祉の課題として、「人口減少による担い手不足」「社会参加ができていない高齢者の増加」「病院の収益減少による管理・維持や職員の処遇改善が不十分であること」の3つを挙げた。

また、課題の解決のために医療提供体制の継続や一人ひとりが地域とのつながりを持ち、エンパワメントを高めた生活等が必要であるという意見が出た。

目指す姿

うるおい・うまれるまち

最重要課題とその理由

1 保育・教育の改善

生産人口の転出と地元愛

2 ブランド力の向上

住みたいと思える産業・居住観光の認知

3 チャレンジしやすい環境づくり

行政サポート体制と職場環境

発表
内容

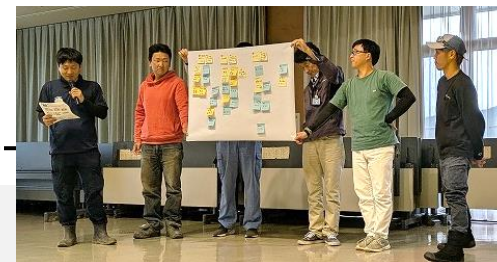
商工・観光の課題として、市の保育制度や、ブランドの認知力、就業場所がない、賃金が低いなどの課題が挙げられた。

それらに対する解決案として保育園の市外在住者の受入れや住みやすさに関わるブランド力の向上、Uターン・Iターンしたい人への環境づくりといったことが必要だという意見が出た。

目指す姿

農林水産業で子育てできる持続可能なまち

最重要課題とその理由



1 農林業に使用できる土地

田畑が耕作放棄地となっているため、生きる土地を作っていないといけない。

2 人口確保

人口が減少しているので、大洲市に残ってもらう、またはIターンやUターンがしてもらえる取組・運営をしていく。

3 収入源

収入が安定していないため、将来が見えるように、数字で「やりたい」「なりたい」を実現的にする。

発表
内容

農林水産の課題として、「農林業に使用できる土地を借りるハードルの高さや土地そのものが耕作放棄地となっている現状があること」「農業従事者が少なく後継者もいないこと」「農林水産業の収益が低いこと」の3つが挙げられた。

それぞれの課題は連動しており、農林水産業で得られる収入が小さいため、農業従事者が不足し、農地や山が荒れるという流れがあるという意見が出た。

目指す姿

寄り添い合える誰もが安心安全なまち

最重要課題とその理由

1 地域で集える場の確保

各施設が離れている。複合施設が欲しい

2 連携不足

人のつながる場が少ないため、気軽に相談できる場所

3 人と金の確保

子育て・教育に関する専門的な知識を持っている人が少なく、教育に対する財源不足

発表
内容

子育て・教育の課題として、「各施設の距離が離れているため地域で集える場がないこと」「子育ての相談などを各場所で行っているが連携不足となっていること」「子育て・教育に関する専門的な知識を持っている人が少なく、またそういったことを教育することも財源がなくできていないこと」が挙げられた。

また、財源については、施設やスポーツイベント等を行うためにも必要だという意見も挙げられた。

課題の“解決策”について 考えるワークショップ



分野別ワークショップ 参加の心得

【自由な発想】

既成概念等にとらわれない、大胆な発想大歓迎です。
思いついたことは自由に発言・提案してください。

【批判は厳禁】

他の人の発言に対して「それはおかしい」「現実的ではない」等といった批判は禁止です。

【量が質を生む】

「もう少し考えがまとまってから提案しよう」等と考えずに、
思いついたことはどんどん言葉にしてみましょう。

【アイデア便乗】

出された意見・アイデアはみんなのものと考え、他の人の言ったアイデアに便乗して、よりよいアイデアにすることも大歓迎です。

【短く多く】

一人で長く話すのではなく、簡潔で短い発言を数多くすることで、
言葉のキャッチボールが生まれます。

分野別ワークショップ

分野別ワークショップは本日を含め、
全3回開催してきました。

回	テーマ
第1回	<u>“目指す姿”</u> について考える
第2回	目指す姿を実現する上での <u>“課題”</u> を考える
第3回	課題の <u>“解決策”</u> について考える

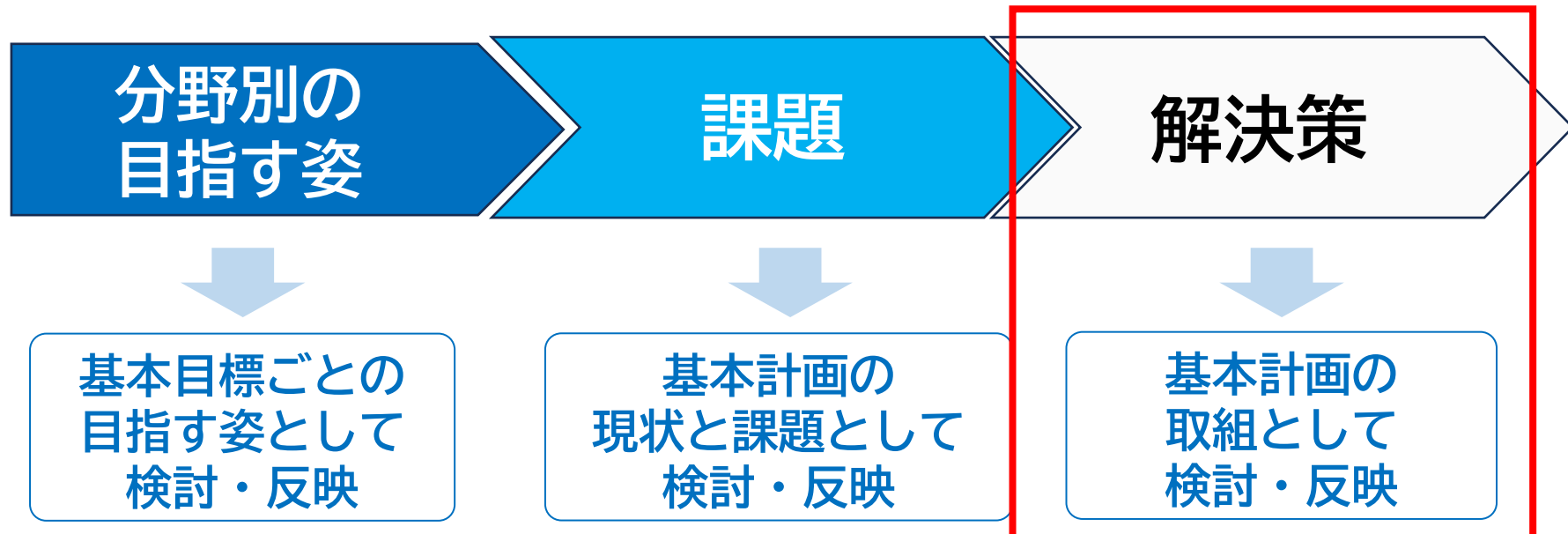
分野別ワークショップ

【目的】

住民参画の一環として、基本構想で設定する「分野ごとに目指す姿」や「実現のための解決策」等を住民とともに語り、考えるワークショップを実施する。

目指す姿の実現のための手段を検討する

バックキャストिंग



大洲市のまちづくりの指針 となる最上位計画

第2次大洲市総合計画

基本構想

(平成29年度～令和8年度)

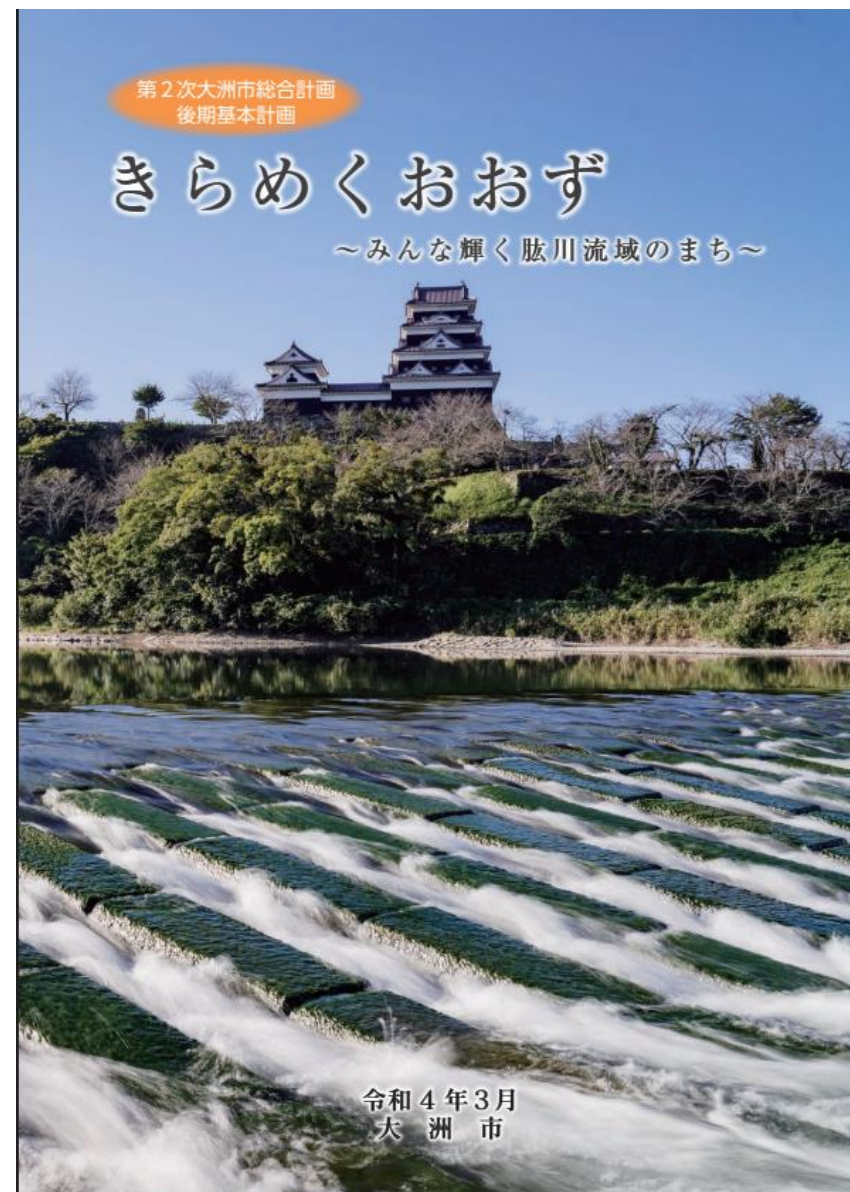


後期基本計画

(令和4～8年度)

めざす将来像
(ビジョン)

将来像の実現に
向けた
まちづくり分野
別の方向性




基本目標1 活力きらめくまちづくり 施策1 農業の振興 <主要施策>


主要施策1 畜産物の生産振興と多様な担い手の育成

①生産体制の強化

- ・「産・官・学」の連携により、農畜産物の高品質・高付加価値化を促進します。
- ・飼料用米や麦・大豆など戦略作物の本作化、水田のフル活用を図ります。
- ・野菜については、主産地形成と戦略的な出荷体制の強化を図ります。また、付加価値の高い野菜の生産と販売を促進します。
- ・畜産については、酪農ヘルパーの活用や畜産に関する組織経営体の育成により、ゆとりある酪農経営を促進します。また、畜産公害の対策や家畜の伝染病対策に努めます。
- ・温暖化による気候変動や大規模自然災害への対応をはじめ、持続可能な生産体制の構築に関する支援を行います。



この部分に
反映するための
材料を意見交換



第2回で考えた
課題の解決策を
分野別に検討する

【分野】

市民協働・共生	----→	市民協働・生活環境 (防災・交通等含)
健康・福祉	----→	健康・医療・福祉 (高齢・障がい含)
商工・観光	----→	商工・観光
農林水産	----→	農林水産
子育て・教育	----→	子育て・教育環境 (スポーツ含)

本日の進め方

ステップ1
(チーム・5分)

第1・2回を振り返り、
“課題”に対する共通認識を持つ

ステップ2
(個人・15分)

課題の解決策を3つの視点で考える
※付箋に書出し

ステップ3
(チーム・20分)

解決策を理由等も含めて共有する
※模造紙に整理

ステップ4
(チーム・30分)

プロジェクトを考える

ステップ5
(チーム・20分)

最初の1年で取り組むことを3つ考える

第1回・2回を振り返り 共通認識を持ちましょう (チーム) (目安5分)

🔗 第1回・2回まとめを確認しながら、
前回の検討状況や目指す姿への想いを
再認識しましょう



次の3つの視点で**解決策**を考える
「**個人**」「**市民や団体**」「**行政と共に**」
(個人で) (目安15分)

👉 各自で課題の解決策を書き出してみましょう



書き出した 解決策を共有して整理しましょう (チームで) (目安20分)

- 👉 各々の付箋内容を共有する (追加もOK)
- 👉 模造紙に貼りだして、整理する



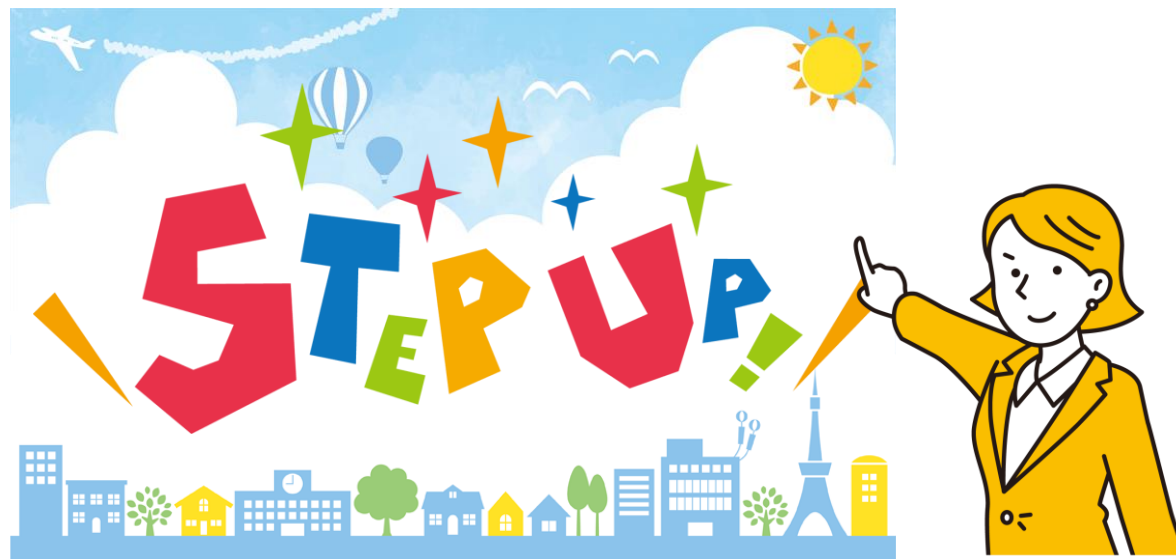
課題を解決する プロジェクトを考えましょう (チームで) (目安30分)

- 🔑 9年後に完遂し、課題を解決できるプロジェクトを考えましょう (プロジェクト名含む)
- 🔑 解決策は意見を網羅しても、抽出でもOK!



解決策を実行するにあたり、
最初の一年に取り組むことを考える
(チームで) (目安20分)


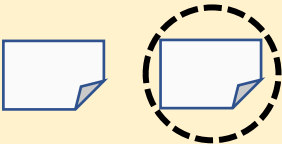

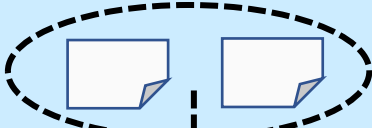
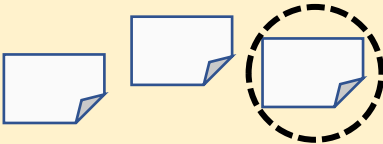

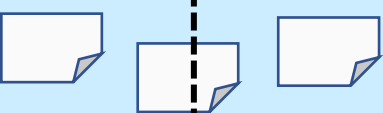
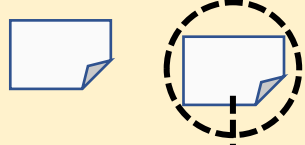
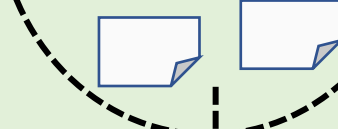
👉 チームで検討した解決策を踏まえて、
最初の一年以内にやるべきことを考えましょう！



【記入例】 解決策の検討模造紙（付箋貼付）

ステップ3

ステップ4
5

解決策 ※3つの視点で考える	〈課題①〉	〈課題②〉	〈課題③〉
	〈個人〉 		
	〈市民や団体〉 		
〈行政と共に〉			
今後9年に向けたプロジェクト	プロジェクト ●●●●●●●●		
最初の一年で取り組むこと	チームで考えたプロジェクトに対して3つの取組み（ステップ）を考える ファーストステップ1 ●●●●●●●● ファーストステップ2 ●●●●●●●● ファーストステップ3 ●●●●●●●●		

本日の成果を発表する
(各チームから全体に)
(目安15分)

- 👉 模造紙を踏まえて、簡潔に発表
- 👉 発表者は、リーダー以外でもOK (複数可)

1 チーム 3 分程度

